

第18回埼玉県ディスコン大会結果報告

開催日時：令和7年11月5日（水）13：00～16：30

開催場所：上尾スポーツ総合センター アリーナ全面

参加チーム：21チーム（1チーム3名編成、2名は不可）

参加人数：競技者63名、スタッフ9名（うち2名は競技者兼務）、合計70名

参加費：一人500円（当日支部ごとに徴収）

配布資料：大会開催要項、参加者名簿、競技方法、タイムスケジュール、組合せ表、コートレイアウトなど。

会場設営：コートはテープ（ピンク色を使用）節約のため、既存のバドミントンラインを利用し7面（5m×10m）を設置しました。なお、エンドラインの両サイドには三角コーンを置きました。

また、全日本ディスコン交流協議会の公式ルールブックのコートサイズに従い、ポイントライン、選手待機ライン、無効ディスク保管ラインを設定しました。

得点表（A3サイズ、署名欄付き）とコート別試合順序表（結果記入欄あり）は、エンドライン外側にベニヤ板2枚を椅子の上に置き掲示しました。

競技方法：予め本部が作成した組合せ、コート割りに従い、全チーム合計4試合を実施。

1コートに3チームが入って、各チーム2試合と審判を行い（主審不在チームについては、スタッフが主審を担当）、コートを移動して後半戦の2試合を行いました。

1試合12分で7点先取制。時間内で試合が終了した場合も練習は不可。試合結果は勝点制で勝ち3点、引分け1点、負け0点とし、4試合合計で勝点が高い場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順（全て同点の場合は、キャプテンのジャンケン）で順位を決定しました。

大会趣旨：①日頃の練習の成果を発揮する場として、またディスコン愛好者同士の交流の場として、1年に1回ディスコン仲間が一堂に会して順位を競います。

②この大会は第38回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、上位3チームに対し埼玉県知事の表彰状が県から交付され、また、埼玉県レクリエーション協会から5万円の補助金が支給される予定です。

参加チーム：さいたま市5チーム、横瀬町2チーム、川口市3チーム、上尾市4チーム（うち3チームは主審不在）、所沢市6チーム、混成1チーム、の合計21チームが参加しました。受付時にチーム名札を配布し全員着用。

開会式：チーム番号順に整列して、松本事務局長の開会宣言で始まり、山田会長から今大会の開催に当って、上尾支部の事前準備、会場設営に謝意が表明されました。また、参加予定のスタッフ・選手全員が一人も欠けることなく集ったことは素晴らしいとの言葉が述べられました。

前回優勝の上尾チームから優勝カップが返還され、力強い選手宣誓がありました。

続いて磯副会長から競技方法について説明があり、今大会のルールは、全日本ディスコン交流協議会発行の公式ルールブックのルールを採用し、キャプテン及び2番3番の投盤順は本大会中変更できないことや、試合開始時間に選手が揃わない場合の規定等の説明がありました。

試合：準備体操の後、各コートに分かれて試合を行いました（試投はなし）。試合開始と終了は、フォイッスルに従い全コート一斉としました。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められました。

表彰式：集計担当の越河氏から成績発表があり、山田会長から賞品等が授与されました。

上位入賞：優勝　さいたまSチーム（4勝・勝点12、得点30、失点3）

優勝チームには、優勝カップ・個人別県知事賞状・賞品が授与されました。



準優勝 さいたまNチーム（4勝・勝点12、得点24、失点7）



第3位 川口Bチーム（3勝1敗・勝点9、得点23、失点10）



なお、混成チームが全て同点のため、ジャンケンの結果4位となりました。

賞品授与：上位3チームの他に5位、7位、10位、15位の飛び賞とブービー賞が授与され、また、全員に参加賞が渡されました。

なお、各チームに試合結果集計表が配布されました。

閉会宣言：町田副会長から閉会の挨拶があり、集合写真を撮り散会しました。



(山田 武記)